

2013年12月1日
株式会社 日本アクア

『アクアフォームNEO(材)』新発売 新発泡ガス(HFO)で業界初の木造(軸組)防火試験合格～国交省へ認定申請～ 12月1日から寒冷地をはじめ日本全国で発売、施工開始

株式会社日本アクア(本社:神奈川県横浜市、社長:中村文隆)は、建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームの画期的な新製品として、新発泡ガス(HFO)を用いた『アクアフォームNEO(材)』を12月1日から北海道をはじめ日本全国で発売、施工開始いたします。

断熱性・作業性に優れる硬質ウレタンフォームの吹付け工法で、多くの建築会社に採用されている日本アクアには、ノンフロン品だけでなく、より高い断熱性能と環境負荷軽減の両立ができる吹付け硬質ウレタンフォームの要望が数多く寄せられておりました。これらのご要望にお応えするために、このほど新発泡剤としてHFO(ハイドロフルオロオレフィン)を採用し、代替フロン(HFC)製品と同等の断熱性能が得られる吹付け硬質ウレタンフォームを開発し日本全国で施工する体制を整えました。

従来、建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームは、代替フロン(HFC)タイプとノンフロン(水発泡)タイプの2種類が使用されておりますが、それぞれにメリット、デメリットがあります。

今回の新製品『アクアフォームNEO(材)』は、代替フロンタイプ、ノンフロンタイプの両方の長所を備えており、発泡剤に採用したHFOは、オゾン層破壊係数(ODP)が“0(ゼロ)”、地球温暖化係数(GWP)も“5未満”のため、地球温暖化防止に貢献いたします。また、従来のHFCと同等の断熱性能が得られるため、現在のノンフロンタイプで課題とされていたフォームの厚さを薄くすることができます。

日本アクアでは今後が期待される『アクアフォームNEO(材)』の長所を生かし、断熱性能の要求が一番厳しい北海道をはじめ、日本全国で供給、施工できる体制を整えましたが、施工対象も建築物(ビル・マンションなど)に限らず、木造住宅にも容易にご採用できるようにいたしました。とくに木造住宅に採用する際の防火認定に関しては、すでに評価機関で外壁(木造軸組)の防火性能評価試験に合格しており、国土交通省に申請し防火認定書を取得する運びとなっております。

このように、日本アクアでは「人と環境にやさしい断熱」がより一層普及することを目指しております。

『アクアフォームNEO(材)』の概要は、以下の通りです。

■優れた断熱性能

熱伝導率(W/m・k)	0.026以下
圧縮強さ(kPa)	100以上
接着強さ(kPa)	100以上
燃焼性	燃焼時間が120秒以内、かつ、燃焼長さ60mm以下

■環境対策

発泡剤にHFOを使用することでオゾン層を破壊せず地球温暖化の防止に貢献します。

- ※1: HFO(ハイドロフルオロオレフィン)…HFCと特性が似ていて毒性が低く、熱的安定性も高いため発泡剤として有望な物質です。地球温暖化係数が5未満で、温室効果の軽減、温暖化防止に役立ちます。
- ※2: HFC(ハイドロフルオロカーボン)…2003年末で生産・輸入が全廃されたフロンに替るもの。地球温暖化係数が950のもののが代表的。オゾン層を破壊しないものの、温室効果ガスに分類されている。
- ※3: オゾン層破壊係数(ODP)…大気中に放出された物質がオゾン層に影響を与える度合い。CFC-11(トリクロロフルオロメタン)を1.0とした場合の値。
- ※4: 地球温暖化係数(GWP)…二酸化炭素を基準にして、ほかの温室効果ガスがどれだけ温暖化に影響するかを表した数値。温暖化への影響度合いを、CO2を1とした場合の値。

《お問い合わせは日本アクア本社 : 045-477-1123 まで》